

# 大障教ニュース

大阪府立障害児  
学校教職員組合  
大阪市天王寺区  
東高津町7-11  
府教育会館704号  
(TEL) 6765-8904  
(FAX) 6765-8905

# 実践レポート準備中！当日をお楽しみに

## みんなで意見を交わして、より深い内容に！

### 青年フェスタ目前！プレレポート発表会

1月19日(土)に、アウイナ大阪にて、「青年教職員の  
ための実践力アップ講座 プレフェスタ」を開催しました。  
今回の実践力アップ講座では、2月16日(土)に行われ  
るレポート交流会で発表予定のレポートを2名の方に発表し  
ていただきました。参加者を含め、7名が参加し、当日に向  
けて内容の意見交流をしました。(感想は裏面に掲載)

### 「先生も生徒も楽しい授業」を

1つめの発表は知的の高等  
部での実践で「書道の授業で  
仲間づくり」というテーマで  
のレポート発表でした。教室  
にもなかなか入れない生徒も  
いる中で、みんなで取り組め  
る、みんなが楽しい課題は何  
かを考える中での実践でした。  
「先生も生徒も楽しい授業」を  
めざして、「先生」をテーマに  
した授業では、先生たちの特



授業作りの悩みも交えてレポート

### 30回だよ！全員集合！

## 青年フェスタ

日時；2019年2月16日(土) 13:00~  
2月17日(日) 12:50

場所；箕面観光ホテル

記念講演；「受け身」な子どもから「自ら考え行動する」  
子どもへ～今、教師が大切にしたいこと～

宮下 聡 先生

特別支援学校分科会レポート

【知的障害校】

①書道を通して仲間づくり 生徒も教師も楽しい授業  
(高等部)

②支援教育の入口と出口を経験して感じたこと  
(小学部/高等支援)

【肢体不自由校】

①ICT教材を使ってみよう(中学部)

②子どもの成長 自立活動・授業・給食(中学部)

その他、2日目は選べる12講座があります！  
参加費などの補助あり！みんなで学びましょう！



当日に向け、活発に意見交流しました

すぐできる、VRやARを用いた実践  
2つめのレポートは、肢体  
不自由な子ども部の実践で、視界  
や動きが制限される生徒に対  
してiPadを使ってVRや  
ARを用いた実践でした。特  
別な機材を必要とせず、プロ  
ジェクターとiPadですぐ  
に体験できる方法が紹介され  
実際に体験した参加者からは  
驚きの声が上がりました。



授業の様子を話し  
ながらVR実演中

### 青年フェスタにぜひ参加を！

レポートの発表後には、参加者全員で  
の活発な意見交流が行われました。意見  
を交流する中で、自分の実践を振り返っ  
たり、レポートの中では聞けなかった裏  
話や工夫、子どもの様子等が聞け、学び  
をより深めることができました。  
2月の青年フェスタでは、大障教から  
特別支援の分科会で今回発表された2本  
のレポートを含め、4本のレポートが発  
表されます。是非参加してください！

大障教ホームページアドレス <http://fc06331220171211.web2.blks.jp/> Eメール アドレス : fushoukyou\_1@mtb.biglobe.ne.jp



2018年度からの報酬改定の影響で、障害  
者の就労支援を行う事業所の6割が減収となつた  
ことが分かりました。全国1870の事業所であ  
る障害者団体「きょうされん」の調査によるも  
のです。

きょうされんの調査は、報酬改定前の201  
8年3月と改定後の同5月の基本報酬の月額を比  
較しました。重い障害のために一般企業への就労  
が困難な人を支援する「就労継続支援B型」と、  
企業への就労を希望する人を支援する「就労移行  
支援事業所」合わせて1063カ所が回答しま  
した。

その結果、就労継続B型の508カ所(58.  
7%)、就労移行支援の96カ所(66.2%)で  
報酬が減収になっていました。とりわけ、重度の  
障害がある人たちが利用する就労継続B型では、  
減収となつた508事業所中172カ所は、年額  
300万円以上の減収が予測されると回答しまし  
た。この額は職員1人分の人件費に匹敵するもの  
で、事業所にとっては大きな痛手です。

2018年度からの報酬改定で、就労継続B  
型については、事業所が利用者に支払う工賃が高  
いほど報酬が高くなる仕組みが導入されました。  
しかし、重度の障害のある人ほど過当り通所  
日数が少なく、通所時間も短くなる傾向があり、  
必然的に支払う工賃が少なくなってしまうのが実  
態です。障害の重い人を受け入れていた事業所ほ  
ど、厳しい運営を迫られることとなります。当  
然、利用者を支える職員の増員が困難となり、支  
援の水準も下げざるを得ません。

1月28日、きょうされんは調査結果を受け、  
国に対して基本報酬の抜本的見直しなど緊急の対  
策を訴えました。

ブロック別  
学習会  
シリーズ⑤

# 今後のろう学校のあり方について話していこう

## 「聴覚に障がいのある子どもたちの進路」について学習交流しました

### ろう学校ブロック学習交流集会

1月19日、ろう学校ブロック教研を開催し、「聴覚に障がいのある子どもたちの進路」について、子どもたちの入学前から卒業までのことを学習・交流しました。



講師の中村克己さん

まず、中央聴覚支援学校の高等部で長年進路を担当されている中村克己さんから「高等部の進路に関わり続けて」「いっぽいっぽ」多くの方々とのつながりで前にすすんだこと々の講演がありました。学校の概要、進路先のこと、そして卒業生の進路にもなっている施設づくりの運動を中心に話されました。現在、社会福祉法人大阪聴覚障害者福祉会では、なかまの里、あすくの里、あいらぶ工房、ほくほくと4つの施設や事業所があります。はじめは行政に働きかけていた施設建設は署名が採択されたとはいえ、「取りかかるまでに20年かかる」と言われ、それではいけないと環状線8か所での署名・募金活動、アイラブレンズマラソン

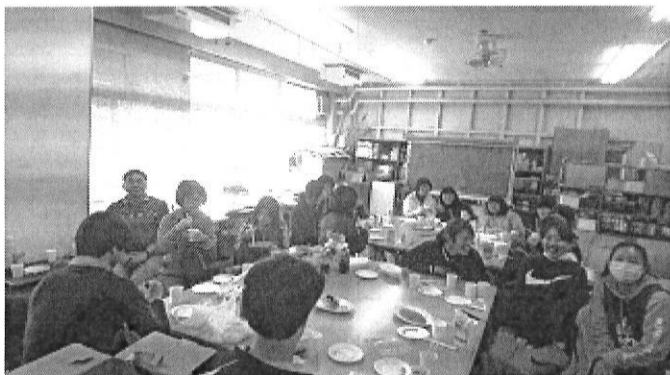
ン、チャリティーコンサートなど様々な形で施設建設運動にとりくみ当時3億の資金を集めました。これからもろうあ者の拠点を作るということ、泉州地域にも2020年4月に開所すべく運動は続けられています。中村先生は「教員として、知識や技能をつけていくことも大事。それだけでなく、卒業後もずっと見続けられるように施設づくりにも関わってほしい」と締めくくられ、法人後援会への入会も呼びかけられました。

この後、各校からのリレートークでは幼稚園・小学部・中学部・高等部・寄宿舎の進路にむけてのとりくみの報告がありました。赴任して2年の先生からは進路指導に関わっての悩みも出され、会場からは「一人で悩まないで。各校からの引継ぎでは言えないようなことも、組合の仲間で信頼



みんなで交流を深めることができました

### 毎年恒例！ 分会旗開きを行いました！ 堺支援学校分会



2018年度3学期の始業式、中華っばいおかずと非常食体験のアルファ化米を囲んで20名程の参加で、分会旗開き&食事会をしました。参加者からは「小・中・高と学部を越えての交流で、あまり話をしたことがない方も交流ができました」と感想が述べられました。ささやかでもこのような交流を行い、教職員一人ひとりが大切にされる職場環境を守っていききたいです。

### フレスタ参加者の感想です！（表面より）

- みんなで授業の話をする、自分も授業がしたくなりました。レポート発表を聞きながら、「もし自分のグループだったら……」と考えると楽しいし、刺激ももらって元気ができました。ぜひ当日は、たくさんの人に聞きにきてほしいと思います。
- レポートをまとめると、自分の実践をもう一度考え直すいい機会になりました。普段は忙しくて、授業をした後に中々ふりかえることができず、全体を通して振り返られてなかったので。発表してみて、「次はこうしよう」と考えることがたくさん増えました。
- フェスタだと時間があまりない中で、今回のようにじっくり一人ひとりの発表について話を聞いたり、深めたりすることが中々できないので、たくさん話ができよかったです。本当は、職場で授業やとりくみについて、こんな風に話ができたらいいのにと思いました。
- 自分が発表した時のことを思い出しました。当時を振り返ると、自分が楽しめた実践はレポートにできたけれど、今の自分の実践はレポートにできるのか…と考えさせられました。他の人の話を聞くと、自分の実践も振り返ることができて、よかったです。当日はたくさんの人にぜひ来てほしいと思いました。

